

令和6年度

第1回大分県教育委員会 議事録

日 時 令和6年4月12日(金)  
開会14時05分 閉会14時29分

場 所 教育委員室

令和6年度  
第1回大分県教育委員会

**【議 事】**

- (1) 報 告
  - 令和7年度教員採用選考試験実施要項について
  
  - 令和6年度大学入試結果について
  
- (2) 協 議
  - 大分県立図書館協議会委員の任命について

## 【内 容】

### 1 出席者

委 員	教育長	山 田 雅 文
	委 員 (教育長職務代理者)	岩 崎 哲 朗
	委 員	高 橋 幹 雄
	委 員	鈴 木 惠 代
	委 員	岩 武 茂 代
		岡 田 豊 弘
事務局	教育次長	大 和 孝 司
	教育次長	山 田 誠 司
	教育次長	武 野 太 平
	教育改革・企画課長	鈴 木 耕 平
	教育人事課長	吉 雄 幸 平
	高校教育課長	小 野 和 正
	社会教育課長	矢 野 修
	教育改革・企画課 総務企画監	角 淵 達 彦
	教育改革・企画課 課長補佐 (総括)	新 貝 隆
	教育改革・企画課 主査	久 知 良 周 平
	教育改革・企画課 主査	穴 見 ひ と み

### 2 傍聴人

3 名

## 開会・点呼

(山田教育長)

委員の出席確認をいたします。  
本日は、全委員が出席です。

(山田教育長)

はじめに、教育長就任後最初の委員会ということで一言ご挨拶させていただきます。4月1日付けで教育長を拝命いたしました山田と申します。どうぞよろしくお願いいたします。

ご承知かもしれませんが、教育行政は初めての経験で、岡本前教育長をはじめ歴代の教育長の御功績を考えると責任の重さに身の引き締まる思いです。引き受けた以上、これまでの行政経験を生かして精一杯努力してまいりたいと考えています。

教育行政をめぐる課題はたくさんありますが、特に平成20年の事件以来進めてまいりました教育改革あるいは芯の通った学校組織の推進、このように営々と取り組んできたものについては、しっかりと継承してまいりたいと考えています。

その一方で新たな課題もたくさん生まれています。例えば、学校の働き方改革です。これは実に喫緊の課題でして、教員の人材不足、試験倍率の低下等の背景には、学校現場の厳しい環境・様々な問題があるのではないかと考えております。

また、ICTの技術の進展への対応、教育DX推進といった社会の変化にも対応していく必要があります。このようなものが学校現場の改革にも繋がっていくのではないかと考えております。

さらには、学校現場だけでは解決できない問題について、知事部局と連携して取り組んでいく必要があります。例えば、いじめや不登校、虐待やヤングケアラー等の問題は学校だけでは解決できません。福祉サイドと連携しながら進めていく必要があります。そのようなことも併せて、しっかりと取り組んでまいりたいと考えておりますので、どうぞお力添えを賜りますよう、よろしくお願いいたします。

(山田教育長)

それでは、ただ今から、令和6年度第1回教育委員会会議を開催します。

## 署名委員指名

(山田教育長)

本日の議事録の署名については、岩崎委員にお願いいたします。

## 会期の決定

(山田教育長)

本日の会議はお手元の次第のとおりです。会議の終了は14時30分を予定していますので、よろしくお願いいたします。

## 議 事

(山田教育長)

始めに、会議は原則として公開することとなっておりますが、協議第1号は人事に関する案件ですので、地方教育行政の組織及び運営に関する法律第14条第7項ただし書の規定により、これを公開しないことについて、委員の皆さんにお諮りいたします。

賛成の委員は挙手をお願いします。

(採 決) 全員挙手

(山田教育長)

協議第1号は非公開といたします。

(山田教育長)

本日の議事進行は、始めに公開による議事を行い、次に非公開による議事を行います。

## 【報 告】

### 令和7年度教員採用選考試験実施要項について

(2課〔教育改革・企画課、教育人事課〕入室)

(山田教育長)

まず、報告第1号「令和7年度教員採用選考試験実施要項について」教育人事課長から説明をしてください。

(吉雄教育人事課長)

3月に2度の協議をいただいた「令和7年度大分県公立学校教員採用選考試験」の実施要項が、配布している冊子のとおりにとまりました。先日4月1日に大分県教育委員会のホームページで公表するとともに、報道発表、実施要項の配布を行っています。配布している募集案内と併せて県内外の大学に配布し、試験内



れています。

続いて、2枚目の資料をご覧ください。昨年度の私立大学の状況については、関東の難関私立大学の合格者数は一昨年度と同程度ですが、関西・福岡地区に関しては増加しています。また、地元私立大学合格者数は5年連続で600名を超えています。なお、この資料も過年度の卒業生を含んでいます。

今年度、新課程の下で初めての大学入試が実施されます。確実な知識・技能の習得を目指す授業はもとより、探究的な学びを一層推進し、生徒の思考力、判断力、表現力を高める場面を作り出す指導により、今後も生徒の進路実現をしっかりと支えていきます。

(山田教育長)

ただ今の報告についてご質問・ご意見はありませんか。

(高橋委員)

人口減で生徒数が少なくなっても合格率が上がっていることは、よいことだと思います。1つ聞きたいのですが、総合型選抜入試で入れる生徒は現在増えていますか。

(小野高校教育課長)

はい。1枚目の資料の右上、3番をご覧くださいと、令和3年3月卒業生からパーセンテージが少し上がっています。この年から総合型選抜が実施されており、総合型選抜を活用して合格を勝ち取った生徒が増えていることがわかります。

(高橋委員)

グローバルな時代になってくると、コミュニケーション能力等が評価されると思います。国立大学でも総合型選抜入試が増えているということですね。

割合としては、私立と国立のどちらも総合型選抜入試の比重が大きくなってきているということですか。

(小野高校教育課長)

はい。確かに学力を評価する入試もありますが、それ以外の力、例えば課題解決能力などを見る入試は増えています。

(高橋委員)

わかりました。引き続きよろしく申し上げます。

(山田教育長)

他にご質問やご意見はありませんか。

(鈴木委員)

大分県の高校生の志望先・進学先について、私立大学の統計は取っていますか。

(小野高校教育課長)

はい、資料の2枚目に記載している大学については統計を取っています。それ以外については手元にありません。

(鈴木委員)

大分県内に残る方、進んで県外に出られる方等いると思います。もう一度県内で学ぶことや、県内で就職すること等、先を見据えて連携ができるとういのではないかと考えています。

志望先や進学先の統計は学校も把握しきれていない、子どももその親も把握できないという環境があります。これから、それほど時間もない中で悩まなければいけないため、先輩方がどのような基準で判断していたかということがわかると、参考になると思います。

また、その情報があれば、学生の県外への流出を防ぐ手立てが見えてくるのではないかと考えました。資料に載っていないその他の大学のことがわかると、対策を練ることができるのではないかと考えます。

(山田教育長)

他にご質問やご意見はありませんか。

先に非公開と決定しました議事を行います。その前に、公開でその他、何かありますか。

では、非公開の議事を行いますので、傍聴人は退出してください。

## 【協 議】

### 大分県立図書館協議会委員の任命について

(2課〔教育改革・企画課、社会教育課〕入室)

(山田教育長)

それでは、第1号議案「大分県立図書館協議会委員の任命について」提案しますので、社会教育課長から説明をしてください。

(説明)

(山田教育長)

ご質問・ご意見はありませんか。



( 質問・意見 )

( 山田教育長 )

他にありませんか。

それでは、今回の協議の結果を踏まえ、準備を進めていきます。

( 山田教育長 )

最後にその他、何かありますか。

それでは、これで令和6年度第1回教育委員会会議を閉会します。

ありがとうございました。